

## NOK、「自治体・公共 Week 2026」に出展

オフィス向け吸音パネルなど3製品を初展示、公共領域に向けた7製品・シリーズを紹介

NOK株式会社（本社：東京都港区芝大門、代表取締役社長執行役員グループCEO：鶴正雄、以下「NOK」）は、2026年5月13日（水）から15日（金）まで東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催される「自治体・公共 Week 2026」に出展します。

3回目の出展となる今回は、「可能性を技術でカタチにする」をテーマに、初展示となるオフィス向け吸音パネルや Body Beat Sensor Toilet、Step Marker を含む7製品・シリーズを展示します。公共施設の音環境、災害への備え、健康・見守り、環境配慮など自治体や公共機関にて想定されるさまざまな課題に対し、NOKの技術を活用した解決策を提案します。

展示製品は、初展示の3製品に加え、ウェアラブルエコーセンサ、Post Original Design シリーズ、硫化水素検知ゴム、加圧式大容量浄水器、リサイクルラバーシリーズです。会期中は、来場者からのご意見を伺いながら、各製品の活用の可能性や今後の改良・開発に向けた検討につなげてまいります。

今後も NOK は、現場の声に丁寧に耳を傾けながら、公共領域における課題に技術を通じた解決策を模索し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

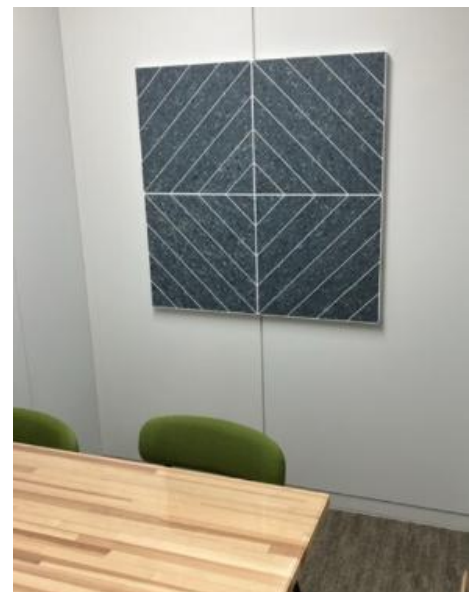
### 働く環境・公共空間の快適性を高める技術

#### ■オフィス向け吸音パネル ※初展示

庁舎や公共施設の会議室・相談スペースなどでは、室内の反響音により声が聞き取りにくくなる場合があります。また、既存施設では大規模な改修が難しいケースもあり、工事を伴わずに設置できる音環境の改善策が求められます。

本製品は、NOKが長年培ってきた防振・防音技術を活用した吸音パネルです。音を吸収しやすい材料と、音のエネルギーを受け止めて弱める構造により、室内で発生する音の反響を抑えます。

軽量かつマグネットで取り付けられるため、スチール製のパーティションや壁面であれば穴を開けることなく設置できます。簡単に取り付け・取り外しができ、レイアウト変更時や退去時の原状回復にも対応しやすい点が特長です。今後、カラーバリエーションの追加も予定しています。



## 心身の状態をモニタリングし、健康に寄与する技術

### ■BodyBeat Sensor Toilet（ボディビートセンサートイレ） ※初展示

高齢化の進行や医療・介護現場における人手不足を背景に、日常生活の中で無理なく健康状態を把握できる仕組みへの関心が高まっています。BodyBeat Sensor Toiletは、NOKが開発したシート状ゴム電極「Sotto ファブリック+（そっとファブリックプラス）」を搭載した、ウインテック株式会社のヘルスケアモニターです。トイレに座ることで心拍数などのバイタルデータを自動測定し、健康状態の把握をサポートする製品に、NOKのセンシング技術が活用されています。

「Sotto ファブリック+」は、水素化ニトリル系導電性ゴムと導電性PET 繊維の布を組み合わせた柔軟性の高い電極です。この電極の上に座ることで、心拍数や血圧の変動などを測定し、異常な状態を検知した際にはスマートフォンへアラートを通知する機能を備えています。

日常生活の負担を増やすことなく、カメラ等を使用しないプライバシーに配慮したセンシングにより、医療・介護現場の人手不足解消や高齢者の健康管理の一助となることが期待されます。



### ■ウェアラブルエコーセンサ

健康管理やリハビリテーション、スポーツトレーニングなどの分野において、身体の状態を日常的に可視化したいというニーズの高まりを背景に開発した製品です。薄く・軽く・フレキシブルな超音波センサを人体に装着することで、リアルタイムかつ高精細なエコー画像を取得できるデバイスです。本センサは、NOKの導電性ゴムや柔軟なフレキシブルプリント基板技術と、共同研究先であるサーモンテックの超音波センシング技術を組み合わせることで、高い装着性と計測精度を両立しました。身体の曲面にも自然にフィットするため、長時間の装着でも負担が少なく、従来は医療機関に限られていた超音波計測を日常へと広げることを目指しています。本展示会では、実際に身体に装着してエコー画像を取得する測定デモを実施します。



## 地域の安全を守る技術

■ Post Original Design (ポストオリジナルデザイン) ※Step Marker (ステップマーカー) は初展示

一般道や高速道路などで使用される、NOK の高耐久ラバーポール (視線誘導標/車線分離標) です。近年、通学路や観光地などでの交通安全対策が強化される一方、街の景観維持や道路インフラ管理の効率化が課題となっており、景観に配慮した高耐久な製品へのニーズが高まっています。

本製品は、一般的な材料に比べ屈曲や負荷に強い耐久性を持つ NOK 独自のウレタンゴムを採用しています。車両接触時の破損を抑えることで、メンテナンス性の向上に寄与します。

ブースでは、縁石鎮とラバーポールを一体化した「Step Marker」の初展示に加え、景観と安全を両立する公共の空間づくりも提案します。

※Step Marker は NOK の登録商標です。(商標登録第 7005905 号)

※Post Original Design は NOK の登録商標です。(商標登録第 6823745 号)



Step Marker ※初展示



アタッチメントモデル



フラグモデル



美観・景観対応

## 公共インフラの整備や災害への備えに貢献する技術

### ■硫化水素検知ゴム

NOK が独自に開発した、硫化水素に反応して色が変わる特殊なゴムです。目視でガスの発生が確認でき、色の変化と接触時間により硫化水素の濃度の目安を予測することが可能です。点検業務の事前確認に活用することで、作業員の安全を確保し、効率的かつ安心な現場環境の整備を支援します。



## ■加圧式大容量浄水器

自然災害の頻発化により、断水や水質悪化といったリスクが高まる中、非常時における生活用水の確保に貢献することを目的として開発した製品です。地震や豪雨などの災害発生時には、手洗いや衛生管理、洗濯といった生活用水の不足が長期化するケースも多く、感染症対策や健康維持の観点からも、十分な水量を確保できる手段が求められています。

本製品は、加圧式の手動ポンプを備えた18リットル容量のポリタンクに、NOKが開発した特殊中空糸膜を採用した浄水カートリッジを搭載しています。雨水や河川水を浄化し、生活用水として使用することを想定した構成です。電源を必要としないため、停電時でも使用できる点が特長で、軽量かつコンパクトな設計により、保管や持ち運びにも配慮されています。

自治体での備蓄や公共施設への配備にも適しています。災害時には、手洗いや衛生管理などに必要な生活用水の確保を支援するとともに、非常時の衛生環境の維持や、避難生活に備えるための検討の一助となることが期待されます。



## 資源循環と環境負荷低減に貢献する技術

### ■リサイクルラバーシリーズ

NOK のゴム製品の製造過程で発生するバリ（製品の成形・加工時に生じる余剰部分）を再利用し、資源の有効活用と環境負荷低減を目指して開発したマテリアルリサイクル製品です。NOK では年間約 9,500 トンのバリが発生しており、これらを資源として新たな価値を持つ製品へと再生する取り組みを進めています。

本シリーズの事例として、粉碎・加工したゴムバリをラバーマット、コースター、人工芝用チップとして再生しました。NOK のゴム配合・加工技術を応用することで、高い機能性を備えたリサイクル製品です。



<自治体・公共 Week2026 出展ブース>

- ・主催：自治体・公共 Week 実行委員会
- ・会期：2026年5月13日（水）～15日（金）10:00～17:00
- ・会場：東京ビッグサイト 西2ホール（東京都江東区有明3-11-1）

NOK ブース小間番号：G12-38

りんかい線国際展示場駅下車 徒歩約7分、ゆりかもめ東京ビッグサイト駅下車 徒歩約3分

- ・URL：<https://www.publicweek.jp/ja-jp/lp/25/vis/pw/shimei.html>

リリースに関するお問い合わせ

NOK 株式会社 CEO オフィス コーポレートアフェアーズ コーポレートコミュニケーション部

TEL：03 - 5405 - 6372 Mail：mb\_nok\_corporate\_affairs@jp.nokgrp.com

■ NOK 株式会社について

NOK グループは「Essential Core Manufacturing — 社会に不可欠な中心領域を担うモノづくり」を掲げ、豊かな社会の根幹となる「安全」と「快適」を支えています。15の国と地域に所在する約38,000人で、積み重ねた基礎研究に基づく製品開発、高品質での大量・安定生産を実現しています。自動車をはじめとするモビリティ、PC やスマートフォンに代表される電子機器、医療・ヘルスケア機器、産業用ロボット、そして人工衛星など、あらゆる産業分野に技術・製品を提供し続けます。